

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2026年2月24日

事業所名: 児童発達支援 こどもリハビリデイサービス ゆめ希

対象人数(保護者)25人 回答者数 16人 回収 64%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	3				当施設では、お子様の多様性に応じた空間づくりを重視し、施設基準の2倍の面積を確保してまいりました。昨今の利用者増加に伴い、より快適な療育環境を維持するため、現在は隣接テナントの拡張交渉および移転先の検討を並行して進めております。
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	16				手厚いと思います	基準以上の人員を配置し、ほぼマンツーマンの体制でリハビリ職・看護師・保育士が支援しています。現在、看護師の増員と体制強化に注力しています。
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1		1		お子様の安心と安全を最優先に考えた環境づくりを徹底しています。内装は白とグレーを基調に、過剰な視覚刺激を抑えた設計を採用。照明には細やかな調光設備を備え、てんかん発作への配慮をしています。また、全館バリアフリー化に加え、絵カード等を用いた視覚支援を導入することで、分かりやすく、のびのびと過ごせる空間を整えています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1		1		清掃、除菌、換気を適宜行っています。オゾンによる感染対策を実施しています。日頃より看護師指導の下、感染対策を実施しています。
適切な 支援の 提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16				リハビリ等の専門スタッフが非常に充実している	当施設では、お子様の多様なニーズを整理し、各専門職が客観的な視点で多角的に評価を行っています。今後はさらに専門性を高め、データや理論などの「根拠(エビデンス)」に基づく質の高い支援を徹底します。お子様一人ひとりに最適な成長のステップを、確かな根拠を持ってサポートしてまいります。
	⑥ 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16				リハビリをしてもらえるのがありがたい	入り口掲示板に公開しています。ホームページでも一部公開しています。個別性のある支援プログラムを実施します。
	⑦ こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	14	2				各専門職による客観的なアセスメント(評価)に基づき、多職種連携によるカンファレンスを定期的で開催しています。そこで導き出された分析結果を個別支援計画に確実に反映し、お子様一人ひとりに最適なオーダーメイドの支援を提供いたします。
	⑧ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1		1		当施設では、お子様ご本人への支援はもちろん、保護者様の就労支援や「きょうだい児」へのサポートにも力を入れております。また、他施設との円滑な移行支援を実現するため、関係機関との緊密な連携を重視しています。担当者会議や日々の電話連絡、送迎時の情報共有を徹底しておりますが、今後はさらに一歩踏み込み、地域全体でお子様を支えるためのネットワーク強化を推進してまいります。
	⑨ 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1				個別支援計画を全職員に周知し、支援しています。
	⑩ 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1		1		個別および集団での活動をバランスよく取り入れ、定期的・継続的な再評価に基づき、支援プログラムを柔軟に更新しています。また、特定のスタッフに偏らず、全職員が交代で活動リーダーを担う体制を構築しています。スタッフ全員が多角的な視点を持つことで、常に新鮮かつ多極的な支援を提供できるよう配慮しています。
	⑪ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	3	3		医療的ケア児が多く外部の園との交流は困難な状況ですが、児童遊戯施設等での活動を積極的に取り入れ、社会との交流機会を設けています。特に医療的ケアが必要なお子様にとっても、安心・安全に外の世界を楽しめる場を大切にしています。今年度は「道の駅 蔵王」にてインクルーシブイベントを開催し、地域の子どもたちと共に過ごす貴重な交流の場を創出しました。
	⑫ 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15				1	※2の説明がなくわからないので答えようがない。 入り口掲示板に公開しています。ホームページでも一部公開しています。専門性の高い支援を実施しています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑬ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1				ご契約の際には、重要事項をまとめた書面の交付に加え、口頭での詳細な説明を徹底しております。制度や支援内容、ご利用にあたっての留意点などを丁寧にお伝えし、ご家族に十分ご納得・ご安心いただいた上でご利用を開始いただける体制を整えています。
	⑭ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					計画の策定にあたっては、各専門職による評価結果に基づき、お子様の現状と今後の目標について丁寧にご説明いたします。書面と口頭を交えて詳細な計画内容を共有し、ご家族の想いやご要望を伺いながら、十分にご理解とご同意(署名)をいただいた上で支援を開始いたします。常に共通の目標を持って、共にお子様の成長を支えるプロセスを大切にしています。
	⑮ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1	1		1	ペアレントトレーニングについては外部機関の有益な研修情報を随時共有しています。今後はご家族も一緒に参加できる独自の研修・ワークショップも企画していく予定です。また、看護師やリハビリ職による専門的な情報提供・相談はいつでも受け付けております。お子様の身体のことやご家庭での環境整備など、少しでも不安を感じた際にはお気軽にご相談ください。専門スタッフが共に考え、サポートいたします。
	⑯ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14		2			日々の活動状況や変化を共有するため、送迎時の対面による対話に加え、スマートフォンアプリのチャット機能を活用しています。場所や時間に縛られない迅速な情報共有と、顔を合わせた丁寧なコミュニケーションを組み合わせることで、ご家族との一貫した共通理解に努めています。
	⑰ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14		2			日頃から保護者様とのコミュニケーションを大切にし、状況に応じて必要な助言や支援を随時行っております。また、日々のやり取りに加え、半年に一度は必ず定期面談を実施。お子様の成長の歩みや今後の課題を丁寧に共有しています。
	⑱ 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	16					お子様や保護者様の想いに真摯に耳を傾け、共感的な支援を行うことを大切にしています。対話を通じて一人ひとりの心に寄り添い、安心感を持って過ごしていただける関係を築くことで、前向きな一歩を共に踏み出せるよう誠実にサポートしてまいります。
	⑲ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3		1	2	医療的ケアが必要なお子様を中心に、療育参観やファミリーフォト、運動会、クリスマス会といった季節ごとのイベントを積極的に開催しております。これらの行事には「きょうだい児」もご招待し、ご家族全員で思い出を共有できる場を大切にしております。今年度は、村山地方を対象としたインクルーシブイベント「がいろがいろフェス」をcomamoさんと合同で開催いたしました。地域の子どもたちが共に集う場を創出できたことは、包括的な支援の大きな一歩になったと自負しております。この取り組みは次年度以降も継続し、地域と共に歩む支援の輪をさらに広げてまいります。
	⑳ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15		1			ご希望に応じて、いつでもご相談いただける体制を整備しております。保護者様の不安や疑問に対し、できる限り迅速かつ丁寧に対応することを心がけています。
	㉑ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15		1			電話や面談といった従来の手段に加え、スマートフォンアプリのチャット機能を導入し、保護者様がいつでも気兼ねなく連絡できる体制を整えています。
	㉒ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16					毎月の行事予定を事前にお知らせし、ご家庭で見直しを持って準備いただけるよう配慮しております。また、日々の活動の様子や施設の取り組みについては、ホームページやSNSを通じて積極的に発信しています。情報公開を通じて、お子様がのびのびと過ごす姿をより身近に感じていただけるよう努めています。
㉓ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					お子様やご家族の個人情報を守るため、万全の管理体制を敷いております。デジタル面では最新のセキュリティソフトを導入し、物理面では不要となったすべての書類をシュレッダーで裁断処理するなど、徹底した情報漏洩防止に努めています。また、全従業員に対して個人情報の取り扱いに関する定期的な研修と指導を実施し、組織全体で高い意識を持って機密情報の保護を継続してまいります。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉔	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16					が一の事態に備え、毎月本番を想定した避難訓練を実施しています。緊急時マニュアルは全項目を完備・ファイリングし、スタッフ全員が即座に対応できる体制を整えています。 また、医療的ケア児の災害対策における課題解決に向け、県議や市議を通じて積極的な提言を行っております。今年度は、山形市の井上和行市議のご尽力により、日常生活用具としての「非常用電源」への公的補助が決定いたしました。今後も現場の声を届け、お子様たちが安全に暮らせる地域づくりに貢献してまいります。
	㉕	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			1		訓練の様子は保護者専用マイページやSNSを通じて発信し、日頃の備えや安全対策のプロセスをご家族にも可視化することで、安心感に繋がっています。 また、医療的ケアが必要なお子様の災害対策は、施設単独ではなく地域全体での備えが不可欠です。今後も関係機関と緊密な調整を図りながら、多職種・多機関と連携した実効性の高い訓練を推進してまいります。
	㉖	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1				お子様が安心・安全に活動できるよう、日頃からリスク管理を徹底し、多角的な安全対策を講じています。 ヒヤリハットの共有や施設内の点検を常態化し、事故を未然に防ぐ体制を構築しています。物理的な安全の確保はもちろん、スタッフ一人ひとりの危機管理意識を高めることで、常に変化する状況に合わせた最適な見守りと環境整備を継続してまいります。
	㉗	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16					開所以来、重大な事故の発生はなく、常に安全な療育環境を維持しております。 あわせて「万が一」の事態を想定した備えにも万全を期しており、緊急時にはあらかじめ定められたマニュアルに基づき、医療機関やご家族へ速やかに連絡・対応できる体制を構築しています。
満足度	㉘	こどもは安心感をもって通所していますか。	16					これからもお子様とご家族が、心から安心して通い続けられる場所であり続けるために、日々の療育の質を磨き、安全管理を徹底し、常に真摯な姿勢で研鑽を重ねてまいります。
	㉙	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16				とても楽しみにしています	お子様が日々の通所を心から楽しみ、笑顔で過ごしていただけるよう、常に趣向を凝らしたプログラムを提供してまいります。 季節感あふれる行事や、お子様の好奇心を刺激する新しいアイデアを積極的に取り入れます。
	㉚	事業所の支援に満足していますか。	16					これからも、ご家族の皆様にご満足いただけるよう、日々の生活を大切にいたした支援を継続してまいります。